

令和5年度 第1回学校運営協議会（学校魅力強化委員会）議事録

1. 期日：令和5年7月11日（火）15：00～17：00
2. 場所：有田工業高校 共用室（旧機械科3-2）
3. 参加者：校長を含む委員11名（欠席2名）
事務局13名（本校職員）
4. 会次第及び議事録
 - (1) 開 会
 - (2) 学校長挨拶
 - (3) 佐賀県教育委員会事務局挨拶
 - (4) 議事
 - ① 令和6年度 教育課程について
 - ・全日制、定時制それぞれで教育課程の基本方針及び教育課程の特徴についての説明を行った。
 - ・異議はなく、承認された。
 - ② 令和6年度 使用教科書について
 - ・全日制、定時制それぞれで次年度使用する教科書についての説明を行った。
 - 質問：今般の ICT 教育に関連して、デジタル教科書の使用について。
回答（事務局）：本校では英語と数学で利用しており、県予算によって購入されている。 - ・異議はなく、承認された。
 - (5) 説明・報告事項
 - ① 地域みらい留学の現状について
 - ・令和5年度の入学生について、意欲的に活動していること、一人暮らしのサポートの面で見つかった新たな課題に対して対応中であることを報告した。
 - ・令和6年度の受け入れに対しては、今年度中の説明会などの日程と現時点でのアパートなどの確保状況を報告した。
 - 質問：県内他校の地域みらい留学状況について。
回答（県教委）：新たに唐津青翔高校が今年度参入しており、現在受け入れているのは有田工業のみである。
 - 質問：部活動について、入部していない生徒の状況について。
回答（事務局）：入部していない生徒についても、学校での学びを最優先に有意義な学校生活を送っている。
 - 質問：地域みらい留学自体の認知度について、またどのような形で中学校3年生や保護者が情報を入手するのかについて。
回答（県教委）：全国的な認知度はそれほど高くないが、都心部中心の広報

活動で、ネット広告を用いたり、塾でチラシを配付したりする広報活動も行われている。

- 質問：地域みらい留学の一人暮らしの状況について。
回答（事務局）：賄い付きの下宿、アパートでの一人暮らしなど生活の状況はさまざまである。その中で自炊について苦労している生徒が存在している。毎日簡単な記録をつけてさせているが、食事が充実していないことがある。
- 質問：来年度以降の受け入れ態勢について。
回答（県教委）：現在町と調整中で、必ず必要数は受け入れられるように動いている。
- 意見：受け入れ態勢を確実にするためには、有田町内に関わらず地域を広げる必要があるのではないか。
- 意見：地域みらい留学は高校だけでなく、そこでの生活も大切なのだが、今それがきちんとはまっているのかどうか疑問に感じる。
- 質問：次年度以降の受け入れ生徒数について
回答（校長）：現在「5名程度」としている。希望者が多くなることは喜ばしいことかもしれないが、あまり多いと受け入れの問題もあるし、県立高校である以上、増えた分県内の受検生が不利になるというのも考えものである。
質問：近隣の波佐見、佐世保地区も他県からの入学ということになるが、この受検との違いについて。
回答（校長）：県の選抜ルールでは、自宅から通うことができれば他県でも構わないということになっており、波佐見、佐世保地区はこれに相当する。地域みらい留学は（原則）親元を離れて一人暮らしとなっており、ここが異なる。近隣でも通学が困難であれば、地域みらい留学を使った受検を考えることもあるのではないか。
- 意見：一人暮らしの食の問題については、例えば地域の方に「食のボランティア」を募ってみて、輪番で夕食を作ってあげるなどということを検討してみてもどうか。
意見：飲食店への協力を願う方法や、地域の方に自炊講座を開講してもらい、留学生に参加を促すなどということも考えられる。
意見：一人暮らしの食材の提供については、フードバンク的なことを考えてもいいのではないか。
- 意見：有田の地域内でも「地域みらい留学」への認知度を上げる工夫をしてはどうか。例えば、祖父や祖母が有田在住の「元有田町民」などに周知できれば、留学しやすい生徒が受検してくれるのではないか。そのためにも、有田駅などに横断幕などを設置することも考えられる。
- 意見：定期的に地域みらい留学の生徒を集めて、何かしらのイベント、例えばまちなか探検や夏祭りなどで、地域の人たちにも交流のお手伝いをお願いし足りすることもよいのではないか。

② 地域との連携事業について

- ・ARIKO コミュニティ・スクール通信や学校だより「勉脩」を用いて、1学期の活動について事務局より説明した。

・新たな他の依頼についても、出来るかできないかを含めて検討していることを説明した。

○ 意見：毎年8月に開催されるウインドウディスプレイ甲子園について、日程を含めて説明・紹介された。

(6) 地域みらい留学協力店舗ステッカーデザインコンテスト審査

地域みらい留学に対し協力してくださる店舗に貼るステッカーの候補を、デザイン科の生徒が作成しており、候補作品の中からグランプリ1点、準グランプリ2点が委員により選出された。

グランプリの作品はこの後、ステッカーとして作成し、協力店舗に貼ってもらう予定である。

(7) 諸連絡 次回は、9月中旬～下旬に開催予定

(8) 閉 会